平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 JALCOホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号 6625　URL http://www.jalco-hd.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 田辺 順一
問合せ先責任者　(役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 大浦 隆文　TEL 050-5536-9824

四半期報告書提出予定日　平成26年2月5日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,801	158.1	191	―	214	―	363	―
25年3月期第3四半期	1,860	18.2	△74	―	△130	―	△219	―

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　365百万円　(―%)　25年3月期第3四半期　△271百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	8.93	―
25年3月期第3四半期	△21.53	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	5,263	3,739	71.0	77.35
25年3月期	1,750	1,322	75.2	36.37

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　3,739百万円　25年3月期　1,315百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	―	―	0.00	0.00
26年3月期	―	0.00	―		
26年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	108.9	400	―	420	―	430	―	10.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	48,337,132 株	25年3月期	10,175,915 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	128 株	25年3月期	68 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	40,653,781 株	25年3月期3Q	10,175,848 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融対策の効果に対する期待感から景気回復の兆しが見受けられ、円安や株価の上昇を背景として、企業収益の改善や個人消費の持ち直し等の動きが見られるなど堅調に推移しました。しかしながら、その一方では、欧州諸国での緊縮財政の継続、新興国の景気減速による世界経済の下振れリスクなど、先行きを楽観視できない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、平成24年９月に電子機器用部品事業の事業譲渡を完了し、現在は、パチンコホールを主たるお客様として、中古遊技機の販売・レンタル、ファイナンス（貸金）、不動産等のオフバランス、及び設備機器等販売などを行うアミューズメント事業に経営資源を集中しております。

当第３四半期連結累計期間におきましてもアミューズメント事業は順調に推移し、平成24年１月に新規事業として開始した中古遊技機の販売・レンタル事業が好調に推移していることに加えて、貸金業も平成25年４月に第１号案件を実行して以来、貸出金額の積み増しが進んでおり、平成25年11月には株式会社マルハンとの間で不動産オフバランス事業の第１号案件として賃貸用事業用地を取得するなど、事業ポートフォリオの充実も順調に進行しております。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間における業績は、売上高48億１百万円、営業利益１億91百万円、経常利益２億14百万円となりました。また、平成25年６月に当社子会社である株式ジャルコの子会社であるPT. JALCO ELECTRONICS INDONESIA（当社の孫会社　以下、「JALCO INDONESIA」といいます。）が保有する土地（地上建設権）・建物の譲渡が完了したことに伴う固定資産売却益２億51百万円、平成25年11月に取得した千葉県松戸市の不動産の一部を譲渡したことに伴う固定資産売却益１億16百万円を各々特別利益として計上したことに対して、上記JALCO INDONESIAの土地（地上建設権）・建物売却にかかる税金費用、その他諸費用として91百万円、中古遊技機レンタル資産の売却による固定資産売却損79百万円を各々特別損失として計上したことなどにより、当期純利益は３億63百万円となりました。

なお、当第３四半期連結累計期間末時点でのアミューズメント事業における運用資産は、売掛金２億35百万円、たな卸資産５億36百万円、レンタル資産４億86百万円、貸付金14億円、不動産16億17百万円、合計42億74百万円となっております。

（２）連結財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較して４億68百万円増加し13億75百万円となりました。これは主に、アミューズメント事業において売掛金が３億32百万円減少したことに対して、商品在庫が４億44百万円増加し、貸付金2億円が発生したことに加えて、現金及び預金が１億58百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して30億44百万円増加し38億87百万円となりました。これは主に、JALCO INDONESIAが保有する土地（地上建設権）・建物の譲渡が完了したことなどにより土地23百万円、建物及び構築物61百万円が各々減少したことなどに対して、アミューズメント事業においてレンタル用資産37百万円が増加し、貸付金12億円が発生したことに加えて、賃貸用事業用地を16億17百万円（取得諸費用、不動産取得税を含む）にて取得したことなどによるものであります。

以上により、当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して35億12百万円増加し52億63百万円となりました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末と比較して８億２百万円増加し10億53百万円となりました。これは主に、JALCO INDONESIAが保有する土地（地上建設権）・建物の譲渡が完了したことなどにより、前受金53百万円が減少したことに対して、当該譲渡に関連して今後発生する税金費用、その他諸費用として引当金35百万円を計上したことに加えて、アミューズメント事業における事業資金として７億62百万円の借入を行ったことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して２億93百万円増加し４億70百万円となりました。これは主に、株式会社マルハンより事業用地賃貸に伴う預り保証金16百万円を収受したことに加えて、長期借入金２億80百万円が増加したことなどによるものであります。

以上により、当第３四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末と比較して10億96百万円増加し15億24百万円となりました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して24億16百万円増加し37億39百万円となりました。これは主に、当第３四半期連結累計期間において、四半期純利益３億63百万円を計上したことに加えて、平成25年５月の新株予約権行使による新株式発行、及び平成25年11月の第三者割当増資による新株式発行により資本金及び資本剰余金合計で20億58百万円が増加し、新株予約権７百万円が減少したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結通期業績予想に関しましては、平成25年８月２日に公表いたしました業績予想数値から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①棚卸資産の評価方法

当第３四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックスプランニングを利用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	146,759	305,259
売掛金	585,658	253,184
商品及び製品	91,153	536,031
繰延税金資産	3,286	3,711
短期貸付金	―	200,000
その他	80,593	77,660
流動資産合計	907,451	1,375,847
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,681	4,071
レンタル用資産（純額）	449,717	486,796
機械装置及び運搬具（純額）	1,735	―
工具、器具及び備品（純額）	9,048	519
土地	194,731	2,067,750
有形固定資産合計	718,914	2,559,138
無形固定資産		
その他	386	21,284
無形固定資産合計	386	21,284
投資その他の資産		
投資有価証券	340	340
長期未収入金	111,581	95,673
長期貸付金	―	1,200,000
差入保証金	6,647	6,660
その他	4,854	4,193
投資その他の資産合計	123,423	1,306,866
固定資産合計	842,724	3,887,289
資産合計	1,750,175	5,263,136
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,416	5,063
短期借入金	―	762,500
１年内返済予定の長期借入金	24,172	26,256
未払法人税等	41,329	41,382
未払金	8,288	54,275
未払費用	1,122	1,494
レンタル売上前受金	89,446	88,481

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
その他前受金	80,268	26,180
海外納税損失引当金	－	22,411
不動産売却損失引当金	－	11,810
設備売却損失引当金	－	982
その他	4,801	12,730
流動負債合計	250,844	1,053,568
固定負債		
長期借入金	150,813	431,642
繰延税金負債	16,332	16,332
退職給付引当金	9,356	5,966
長期預り保証金	－	16,525
固定負債合計	176,502	470,466
負債合計	427,346	1,524,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	855,000	1,884,157
資本剰余金	2,907,552	3,936,709
利益剰余金	△2,336,708	△1,973,526
自己株式	△5	△13
株主資本合計	1,425,837	3,847,327
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△110,073	△108,225
その他の包括利益累計額合計	△110,073	△108,225
新株予約権	7,065	－
純資産合計	1,322,829	3,739,101
負債純資産合計	1,750,175	5,263,136

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	1,860,588	4,801,607
売上原価	1,640,232	4,442,286
売上総利益	220,356	359,321
販売費及び一般管理費	294,786	167,729
営業利益又は営業損失（△）	△74,429	191,591
営業外収益		
受取利息	61	22
受取配当金	215	68
為替差益	－	28,190
受取賃貸料	27,608	17,853
その他	5,046	5,280
営業外収益合計	32,931	51,415
営業外費用		
支払利息	73,749	10,037
賃貸不動産経費	－	5,214
コンサルティング費用	3,857	－
株式交付費	－	9,914
その他	11,685	3,223
営業外費用合計	89,292	28,389
経常利益又は経常損失（△）	△130,790	214,617
特別利益		
スクラップ売却益	6,348	－
固定資産売却益	10,900	378,476
事業譲渡益	41,437	－
その他	5,967	417
特別利益合計	64,654	378,894
特別損失		
海外納税損失	－	19,498
海外納税損失引当金繰入	－	22,411
不動産売却損失	－	36,629
不動産売却損失引当金繰入	－	11,810
固定資産売却損	6,391	80,075
設備売却損失引当金繰入	－	982
たな卸資産廃棄損	35,053	－
特別退職金	29,391	－
減損損失	14,945	－
関係会社清算損	43,101	－
その他	5,748	－
特別損失合計	134,633	171,408
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△200,769	422,103
法人税等	18,317	58,921
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△219,086	363,182
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△219,086	363,182

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△219,086	363,182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,828	－
為替換算調整勘定	△55,173	1,847
その他の包括利益合計	△52,344	1,847
四半期包括利益	△271,431	365,029
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△271,431	365,029

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

平成25年５月９日から平成25年５月21日の期間におきまして、新株予約権の権利行使により、資本金が129,157千円、資本準備金が129,157千円増加し、また、平成25年11月18日付の第三者割当増資の払込みにより、資本金が900,000千円、資本準備金が900,000千円増加し、当第３四半期連結会計期間末において資本金が1,884,157千円、資本剰余金が3,936,709千円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額(注) １	四半期連結損益計算書計上額
	電子機器用部品事業	遊技機レンタル・割賦販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	488,206	1,372,382	1,860,588	－	1,860,588
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	488,206	1,372,382	1,860,588	－	1,860,588
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△131,504	168,959	37,454	△111,884	△74,429

（注）１.セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△111,884千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△111,884千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２.セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年12月31日）

当社グループは、アミューズメント事業を主たる事業としており、その他に電子機器用部品事業を行っておりますが、前連結会計年度において電子機器用部品事業を他社に譲渡したことにより、当第３四半期連結累計期間における電子機器用部品事業の売上は、譲渡先からのブランド使用料のみとなっております。従いまして、報告セグメントはアミューズメント事業のみとし、その他の事業は全体として重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。